

検討の観点と編集の特色 (312 フードデザイン / 304 子どもの発達と保育)

発行者番号 / 略称	記号 番号	書名	記号 番号	書名
6 教図	家庭 312	フードデザイン cooking&arrangement	家庭 304	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う
編集方針	多様化する食環境に対し、みずからの健康を考え対応できる力を養います。		高校生が「子どもを生み育てることの意義」や「親子関係の大切さ」を実感することができます。	
全体の構成 組織・配列について	<p>①「精神的な充足のための食事」という観点を重視し、楽しく豊かな食事をデザインする力を養うために、内容・構成・表現の充実を図りました。</p> <p>②自分の健康を維持するために必要な栄養素について詳しい知識を身につけ、自らの食生活における課題を見つけて改善する力を養うことができました。</p> <p>③図表などの資料をできるだけ多く取り上げ、科学的にとらえることができるように工夫しました。</p>		<p>①多くの資料や写真を掲載し、子どもの発育・発達に関する基礎を理解できるよう工夫しています。</p> <p>②身に付けた知識を実践していけるように内容・構成・表現の充実を図りました。</p> <p>③各学習の始めにライフステージについて扱い、自分がかつて子どもだったこと、これから子どもを育てる世代になることが実感できます。</p> <p>④子どもを「かわいらしい」と感じることができるよう、多くの写真を掲載しています。</p>	
内容 内容の工夫点について	<p>①自分のことだけでなく、家族や友だちの食生活について考え、豊かな食生活が実践できるよう、積極的に行動にうつすヒントとなる資料を多く掲載しました。【例】 p.21 コラム、p.131~142 など</p> <p>②社会や地球環境と自分の食生活の関係に気付き、視野を広く持って食生活について考えられるようにしました。また、高校生にもできる取り組みを具体的に掲載しました。さらに、エコッキングの方法を紹介し、環境に配慮する意識をもつことができるようにしました。【例】 p.13 ~ 15、p.20 ~ 22、p.246 ~ 247 など</p>		<p>①将来結婚するしない・子どもが欲しい欲しくないに関わらず、保育は重要であることに言及し、これからの保育について考えることができるよう工夫しています。【例】 口絵 1、p.141 など</p> <p>②子育ての負担が母親に集中している現状を取り上げること、男女が協力し、育児を家族・社会が支えていく必要性が学べるようにしました。【例】 p.122、p.125 など</p> <p>③発育や発達に個人差があることに触れ、多様性について実感できるよう工夫しています。【例】 p.23、p.37 図2、p.130 コラムなど</p>	
表現技法 表現や表記について	<p>①食生活の現状についての具体的なデータを多く取り上げ、物ごとを科学的にとらえ、問題意識をもって学習することができるように配慮しました。【例】 p.8 ~ 14、p.242 ~ 245 など</p> <p>②実生活に活用できる学習を重視し、具体的な例や生活に密着した内容を多く取り扱いました。【例】 p.41/p.65 コラムなど</p> <p>③日本料理・西洋料理・中国料理などの場面でのマナーを、イラストを使ってわかりやすく紹介しており、卒業してからも役立つマナーの基本を学ぶことができます。【例】 p.121 ~ 126</p>		<p>①命が産まれる素晴らしさや神秘性を感じることができるよう、母体内での胎児の様子などにも触れました。【例】 p.24 コラム、p.26 など</p> <p>②保育に関わる科学的な資料を掲載し、さまざまな角度から保育をとらえることができるように工夫しました。【例】 p.28/p.46/p.103 コラムなど</p> <p>③等身大の赤ちゃん写真を見ることで、その大きさや成長を実感することができます。【例】 口絵 3</p>	
学習指導要領との関連及びその他 言語活動・伝統文化・体験活動・道徳教育・食育・環境教育・消費者教育	<p>①インターネットが普及した情報化社会において、食に関するさまざまな情報が溢れる中で、情報リテラシーを身につける大切さに気づかせられるようにしました。【例】 p.84</p> <p>②日本の食文化は、自然と共生しながら形成されてきたことを知り、伝統食や郷土食について改めて考えられるようにしました。【例】 口絵 3・4、p.114 ~ 115、p.127 ~ 130 など</p> <p>③文化としての食にも重点を置き、日本の様式別料理や世界の料理、日本・世界の行事食を写真を交えて紹介しました。【例】 口絵 5・6、p.116 ~ 125 など</p>		<p>①「調べてみようこの言葉」として、保育にかかわることわざや慣用語を紹介し、言語活動の充実を図ります。【例】 p.10、p.67、p.141 など</p> <p>②保育士と幼稚園教諭のインタビューや写真などを掲載し、学習に対する動機付けとしました。キャリア教育に役立ちます。【例】 p.53/p.111 コラム、口絵 9・10 など</p> <p>③昔の保育環境についても多く扱っています。現在と比較するだけでなく、日本独自の保育観についても考えることができるような内容になっています。【例】 p.20/p.40 コラム、p.92 など</p>	